

教科(科目)	公民 (公共)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年 (普通科)
使用教科書	『高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会』(清水書院)				
副教材等	『クローズアップ公共2023』(第一学習社)、『2023 ニューコンパスノート公共』(とうほう)				

## 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①「深慮にして実践」「誠実にして勉強」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>②自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして、創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>②3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③自己の在り方生き方を探究するため、「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるため、ボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など、生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

## 2 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## 3 指導の重点

- 社会に参画する自立した主体として、自らを振り返ることを通じて個人の尊厳を学ぶとともに、集団の一員として他者との協働により当事者として公共的な空間を作る存在であることの自覚を身に付けられるよう、教材を工夫する。
- 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現代社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して追究する活動を取り入れる。
- 持続可能な社会づくりの主体となることに向けて、上記①・②で扱う課題・教材への関心を高めるとともに、これまでの学習をもとに、論拠を基に自分の考えを説明、論述する活動を取り入れる。

#### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようとしている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論しようとしている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方に付いての自覚や国民主権を担う公民として協力し合うことの大切さについての自覚を深めようとしている。

#### 5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査、小テスト ・定期考査後のレポート などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・単元の振り返りシートの記入内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への参加態度、出席状況 ・単元の振り返りシートの提出状況 などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

#### 6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1編公共の扉 第1章	4	教科書 資料集	社会に参画する自立した主体とは、孤立していきるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生きる存在であることを学ぶとともに、古今東西の先人の知恵を踏まえ、社会に参加する際の手がかりを学習する。各単元の振り返りシートで思考・判断・表現に関わる力を身につける。	6	授業・言語活動への参加態度 各単元の振り返りシート
5	①私たちの人生と社会 ②青年期の心理と課題 ③哲学の始原と発展	2	プリント 振り返りシート			
5	定期考査 考査後のレポート	1 1	考査 レポート			
5	④一神教の教え ⑤東洋の宗教と思想(1)	4	教科書 資料集	人間は相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通じて互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる存在であることを学ぶ。また、伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れ、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重すべきことについて理解する。各単元の振り返りシートで思考・判断・表現に関わる力を身につける。	8	授業・言語活動への参加態度 各単元の振り返りシート
6	⑥東洋の宗教と思想(2) ⑦日本の風土をと神仏への信仰	2	プリント 振り返りシート			
6	⑧江戸時代の学問と近代化への歩み 第1編第2章 公共的な空間における人間	2				
6	定期考査 考査後のレポート	1 1	考査 レポート		2	定期考査 レポート

6	第1編第3章	5	教科書	人間の尊厳に関する課題レポートを通じて、資料をまとめ、根拠を示しながら自らの考えを他者へ伝える活動を行う。また、選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を身につける際に必要な基本的な概念を理解する。 各単元の振り返りシートで思考・判断・表現に関わる力を身につける。	15	授業・言語活動への参加 態度 各単元の振り返りシート 課題レポート					
7	公共的な空間における基本的原理	5	資料集								
8	第2編基本的人権の尊重と法第1章	5	プリント								
9	①近代国家と立憲主義 ②日本国憲法の成立	5	振り返りシート レポート								
9	第2章						1	1	1	2	定期考査 レポート
10	①日本国憲法と人権保障 ②平和主義と国際社会 ③平等権						2	5	3	10	授業・言語活動への参加 態度 各単元の振り返りシート
11	④自由権 ⑤社会権 ⑥参政権の保障 ⑦新しい人権 ⑧グローバル化と国際人権	2	5	3	10	授業・言語活動への参加 態度 各単元の振り返りシート					
12	定期考査 考査後のレポート	1	1	1	2	定期考査 レポート					
12	第3編現代の民主政治と参画 第3章国際政治 第4章国際政治の現状と課題	2	2	教科書 資料集 プリント 振り返りシート	16	課題レポート 授業・言語活動への参加 態度 各単元の振り返りシート					
1	第1章	2	2				政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際社会における我が国の役割などに関わる基本事項の知識を獲得する。 また、第1章①～⑤については、ワールドカフェの技法を用いて、模擬政党の結成とマニフェストの作成、模擬投票を体験することで、社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と協働して主題を追究する活動を行う。 各単元の振り返りシートで思考・判断・表現に関わる力を身につける。				
2	①民主主義の成立と危機 ②現代の民主主義と課題 ③世論の形成と民主社会 ④政治参加と主権者 ⑤選挙と政党	4	8								
2	第2章	1	1	2	定期考査 レポート						
2	①国会の役割 ②内閣と行政機関 ③裁判所の役割としくみ ④司法参加 ⑤地方自治	8	1	1	2	定期考査 レポート					
2	定期考査 考査後のレポート	1	1	1	2	定期考査 レポート					
2	第4編現代の経済社会と国民生活 *「第5編持続可能な社会をつくる」は、第1編～第4編の関連項目において取り入れる。	5	教科書 資料集 プリント 振り返りシート	公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られることや、政府が国民福祉の向上に対して担う役割を理解する。特に、労働問題・社会保障などに重点を置き、仕事と生活の調和や、少子高齢社会における社会保障の充実と安定化について考える。 各単元の振り返りシートで思考・判断・表現に関わる力を身につける。	5	授業・言語活動への参加 態度 各単元の振り返りシート					

70時間 (50分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・ テスト範囲は、各考查前の連絡票で確認してください。
- ・ 単元終了後、振り返りシートの記入と提出を課します。また考查後にレポート提出を課します。
- ・ 長期休業中の課題については別途指示します。

## 8 担当者からの一言

「公共」を通じて、現代社会の諸課題や人間としての在り方・生き方について学びましょう。そして、それぞれの課題を自分と繋がることとしてとらえ、考え、社会に対する自分の意見・見方を育ててください。